

# 平成20年度

# 予算概要

予算総額307億3,020万円(前年度比6.1%減)

平成20年度予算は、一般会計が190億1,000万円(前年度比6.3%増)、特別会計10会計の合計が110億4,530万円(前年度比22.0%減)、企業会計3会計の合計が6億7,490万円(前年度比0.4%減)となり、総額は307億3,020万円(前年度比6.1%減)となりました。

## ◎歳入の見込み

●市税は、景気の低迷等により個人市民税の大幅な減少が予想されるため、前年度比で約1億1,000万円の減額を見込んでいます。  
●地方交付税は、地方再生対策費の新設、公債費分の増額により、前年度比で5億円の増額を見込んでいます。

## ◎歳出の抑制

▼建設事業の抑制  
「八鹿青深中学校」の整備など喫緊の課題を除き、主要建設事業審査に基づいて実施時期の繰り延べ等を徹底し、建設事業を抑制しました。

## ▼市債残高の抑制

建設事業の抑制等により新規発行額を31億円に抑制するとともに、これを上回る59億円を返済します。  
結果、平成20年度末の市債残高は598億5,100万円と、前年度末に比べて27億7,300万円減少する見込みです。市民1人当たりに換算すると約210万円の市債残高となります。(平成20年3月1日現在人口で計算)

## ▼職員数の削減

一般職員の人数を、退職者

補充を抑制して21人削減します。(退職者23人、採用等2人)

## ▼給与等の減額

■市議会議員Ⅱ報酬10%カット(継続)、改選後の定数の削減(22人↓18人)  
■市長・副市長・教育長Ⅱ報酬10%カット(継続)、期末手当0.2月分カット(継続)、

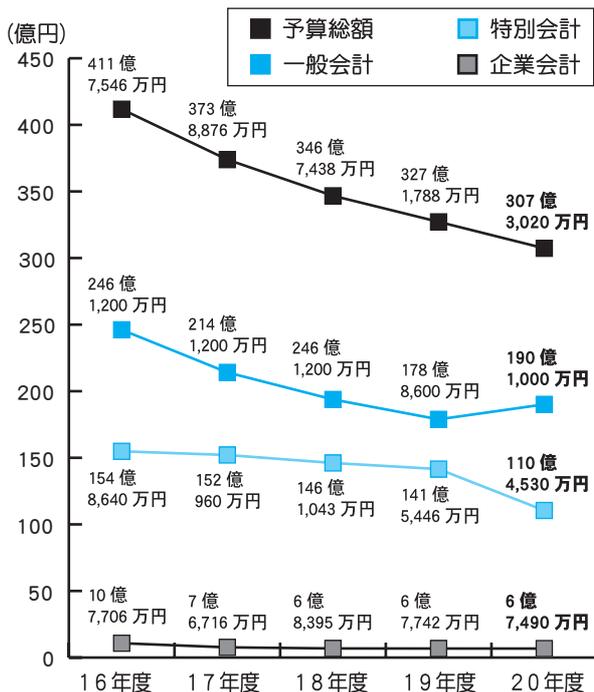
当0.2月分カット(継続)、副市長を2人制から1人制へ

■一般職員Ⅱ期末手当0.2月分カット(継続)、住居手当(持ち家分)約30%カット、管理職手当の定額制への移行(新規)

## ▼経常経費の削減

事務事業評価・補助金審査により事務事業の徹底した削減を進めた結果、平成20年度予算において約3億3,500万円の経常経費の削減効果を見込んでいます。

～予算額の推移～



～各会計予算額～

区分		予算額
一般会計		190億1,000万円
特別会計	国民健康保険特別会計	31億4,220万円
	南谷診療所特別会計	6,740万円
	養父歯科診療所特別会計	5,240万円
	後期高齢者医療特別会計	7億6,470万円
	老人保健特別会計	3億7,570万円
	介護保険特別会計	30億5,100万円
	住宅新築資金等貸付事業特別会計	341万円
	土地取得特別会計	1,249万円
企業会計	簡易水道事業特別会計	18億6,300万円
	下水道事業特別会計	17億1,300万円
	水道事業会計	収益の収支 2億6,890万円 資本的収支 1億1,331万円
	氷ノ山国際スキー場事業特別会計	収益の収支 1億1,891万円 資本的収支 4,777万円
	農業共済事業特別会計	収益の収支 1億2,601万円
合計	307億3,020万円	